

令和5年度年間授業計画（定時制課程）

教科・科目	国語・現代文A	単位数	2	対象学年・組	3年A組
使用教科書・教材	『現代文A 改訂版』（大修館書店）		教科担当者名	薬師咲子	

学習目標	①基本的な漢字の読み書き能力・語彙を身につける ②文章を論理的に読解し、分析・考察する能力を身につける ③自己の考えや思いを言葉で表現する能力を高める
------	---

学期	月	指 導 内 容	予定時数
一学期	4	授業オリエンテーション 文化の理解「和の思想、間の文化」	6
	5	文化の理解「和の思想、間の文化」 ことばと文化「排球、そして千利休」	6
	6	ことばと文化「排球、そして千利休」 情報と私たち「情報の力関係」 メディアリテラシー	8
	7	将来を考える「どんな人になりたかったか？」	4
二学期	9	小説に親しむ「山月記」	8
	10	ことばと文化「ものごとことば」	8
	11	社会に生きる「幸せの分量」	6
	12	詩歌を味わう「短歌・俳句」 漢字と語彙の確認	4
三学期	1	現代社会を考える「家族化するペット」	6
	2	漱石・鷗外の世界「高瀬舟」	6
	3	漱石・鷗外の世界「高瀬舟」	4

評価の観点・方法	次の3点について総合的に判断し、評価を行う。 ①出席状況、②授業中の取り組みおよび提出物（授業確認シート）、③定期考査の得点 ※臨時休業となった場合には、課題の取り組み状況も評価に加える。
----------	--

令和5年度年間授業計画（定時制課程）

教科・科目	地理 A	単位数	2	対象学年・組	3年 A組
使用教科書・教材	基本地理 A (二宮書店)		教科担当者名	川田 真一	

学習目標	世界の自然環境・社会環境を学習し、いろいろな生活文化について理解できるようにするとともに、現代社会の課題について考察できるようになること。
------	---

学期	月	指導内容	予定時数
一学期	4	身近な地域と地図	6
	5	いろいろな国々と地図帳	8
	6	いろいろな地域と生活文化① 自然環境(地形と気候)と生活文化	8
	7	一学期の復習とまとめ	6
二学期	9	いろいろな地域と生活文化②	6
	10	さまざまな民族と少数民族・先住民族、多民族国家 世界の民族紛争	6
	11	東・南・東南アジアの国々と人々の生活・文化	8
	12	西・中央アジアの国々と人々の生活・文化	6
三学期	1	南北アメリカの国々と人々の生活・文化 オセアニアの国々と人々の生活・文化	6
	2	地球的課題の地理的考察 環境問題 人口・食料問題	6
	3	年間の復習・まとめ	4

評価の観点・方法	①授業の出欠状況と学習への取り組み、②プリント・ノートなどの提出、③定期テストの成績を、総合的に判断して評価。
----------	---

令和5年度年間授業計画（定時制課程）

教科・科目	数学 A	単位数	2	対象学年・組	3年 A組
使用教科書・教材	数研出版 新高校生の数学 A		教科担当者名	森 直人	

学習目標	場合の数や順列・組合せの計算の習熟を目指し、練習を多く積んだ上で確率を学ぶ。
------	--

学期	月	指 導 内 容	予定時数
一学期	4	集合・要素の説明とその演習	4
	5	集合・要素の説明とその演習	3
	6	和・積の法則の説明と演習。	8
	7	順列・組合せの説明と練習	4
二学期	9	事象と確率の説明と練習	5
	10	確率の計算の説明と練習	7
	11	余事象と確率の説明と練習	7
	12	独立な思考と確率の説明と練習	4
三学期	1	反復思考と確率の説明と練習	5
	2	条件付き確率の説明と練習	6
	3	まとめ	4

評価の観点・方法	基礎学力に重点をおいて、確実な計算力の育成を図り、数学的な考え方を視覚的に扱う。定期考査や授業への取り組みを評価する。
----------	---

令和5年度年間授業計画（定時制課程）

教科・科目	化学基礎	単位数	2単位	対象学年・組	3年A組
使用教科書・教材	新編 化学基礎	東京書籍		教科担当	角皆 充希

学習目標	身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させる。 化学的な見方や考え方を養うとともに、化学に対する興味・関心を高める。
------	---

学期	月	指導内容	予定時数
一学期	4	物質の性質と成分	6
	5	原子の構造	8
	6	電子配置と周期表	8
	7	まとめと演習	6
二学期	9	イオンとイオン結合	6
	10	金属と金属結合	6
	11	分子と共有結合	8
	12	まとめと演習	6
三学期	1	酸と塩基	6
	2	酸化還元反応	6
	3	まとめと演習	4

評価の観点・方法	<p>①授業は、授業プリントに沿って進める。</p> <p>②定期考査は、原則として授業プリントと実験・実習レポートから出題する。赤点は、平均点の1/2未満とする。</p> <p>③定期考査と実験・実習レポートに加え、出席状況・授業への取り組み等をふまえ、総合的に評価を行う。</p>
----------	--

令和5年度年間授業計画（定時制課程）

教科・科目	保健体育・体育	単位数	2	対象学年・組	3年A組
使用教科書・教材	最新高等保健体育 改訂版		教科担当者名	尾高英樹、都竹もみの	

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 各個人が役割を認識して準備・片付けなど仕事を分担し、全員が授業に参加する態度・姿勢を養う。 各種目に応じて、運動の合理的な実践を通じ、安全に留意して運動特性を学ぶ。 身体を動かす楽しさを知り、生涯を通して運動を行う意識を高める。 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高める。
------	--

学期	月	指 導 内 容	予定時数
一学期	4	<ul style="list-style-type: none"> 卓球 【目標】・自ら準備や片づけを行い、積極的に授業に参加する ・安定した用具の操作や状況に応じたラケットの操作を身に着ける 	6
	5	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動（体力テストに向け実施） 【目標】・各種目特有の技能を高め、記録の向上に楽しさや喜びを味わう 	6
	6	<ul style="list-style-type: none"> 体力測定（体力テストに向け、体をほぐす運動および、体力を高める運動を実施） テニス・バドミントン 【目標】・自ら準備や片づけを行い、積極的に授業に参加する 	6
	7	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じたラケット操作を身に着ける 練習、ゲームを通じて個人、ペアの反省を見つけ、次回の課題は何かを考える。 体育理論（オリパラ教育） 	8 3
二学期	9	<ul style="list-style-type: none"> バレーボール 【目標】・自己の役割を認識して、積極的に準備・片づけを行う ・安定したボールの操作を身に着ける 	8
	10	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協力し、チームの一員としての責任の意識をもつ バスケットボール 【目標】・バレーボールに同じ 	3
	11	<ul style="list-style-type: none"> アルティメット（グループ学習） 【目標】・主体的に、準備、片づけを分担し、授業に参加する ・安定したディスク操作により、パス、キャッチを行う 	8
三学期	1	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協力し、チームの一員としての責任の意識をもつ 体づくり運動（持久走等、体力を高める運動） 【目標】・健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図る 	8
	2	<ul style="list-style-type: none"> タグラグビー 【目標】・主体的に、準備、片づけを分担し、授業に参加する ・安定したディスク操作により、パス、キャッチを行う ・仲間と協力し、チームの一員としての責任の意識をもつ 	2
	3	<ul style="list-style-type: none"> 体育理論（第3単元 豊かなスポーツライフの設計） 	2

評価の観点・方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加を重視して評価を行う為、出席を重点に置く。休まず参加することが前提 授業に対する取り組み姿勢、ジャージへの着替え・靴の履き替えも重視する。 実技教科の為、特に欠席時数の許容欠席時数オーバーには注意を要する。 授業への遅刻・早退・見学も欠席時数に加算するため、注意する。 運動技能に加え授業出席・授業態度等を平常点として加味して評価する 体育理論やグループ学習における提出物の状況や内容を評価の対象とする。
----------	---

令和5年度年間授業計画（定時制課程）

教科・科目	芸術・書道 I	単位数	2	対象学年・組	3年 A組
使用教科書・教材	書道 I 東京書籍		教科担当者名	金澤 容子	

学習目標	各自の力量で毛筆、硬筆ともに基礎を学んでいく。楷書、行書、かなについての基礎学習
------	--

学期	月	指 導 内 容	予 定 時 数
一学期	4	硬筆 楷書の基礎学習	6
	5	毛筆 楷書の基本点画と用筆	8
	6	毛筆 楷書の作品の臨書	8
	7	硬筆 楷書と行書の学習	6
二学期	9	毛筆 「漢字かな交じりの書について」	6
	10	毛筆 行書の基本学習	6
	11	毛筆 「蘭亭序」の学習	8
	12	硬筆 生活の中の書についての学習	6
三学期	1	毛筆 細字の学習	6
	2	毛筆 かなの学習	6
	3	硬筆 「漢字かな交じりの書」の学習	4

評価の観点・方法	提出物、出席重視。授業中での取り組み方、授業中の態度、忘れ物
----------	--------------------------------

令和5年度年間授業計画（定時制課程）

教科・科目	外国語・コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	対象学年・組	3年A組
使用教科書・教材	VISTA English Communication Ⅱ		教科担当者名	箕輪 潤	

学習目標	基礎的な語彙及び文法を習得する。 教科書本文の内容を理解して、音読する。 習得事項を活用しようとする意欲を育む。
------	--

学期	月	指 導 内 容	予定時数
一学期	4	教科書第1課 <疑問詞やifで始まる節>	5
	5	教科書第1課 <疑問詞やifで始まる節>	6
	6	教科書第2課 <比較>	8
	7	一学期の復習	2
二学期	9	教科書第3課 <名詞を修飾する分詞>	7
	10	教科書第3課 <名詞を修飾する分詞> 教科書第4課 <知覚動詞・tell～to do>	6
	11	教科書第4課 <知覚動詞・tell～to do>	8
	12	二学期の復習	4
三学期	1	教科書第5課 <使役動詞・関係代名詞what>	5
	2	教科書第5課 <使役動詞・関係代名詞what>	6
	3	三学期の復習	3

評価の観点・方法	定期考査、授業への参加、英語への関心・意欲・態度等を参考に総合的に評価する。
----------	--

令和5年度年間授業計画（定時制課程）

教科・科目	家庭・家庭総合	単位数	2	対象学年・組	3年A組
使用教科書・教材	家庭総合 実況出版		教科担当者名	檜山 時恵	

学習目標	家庭生活の各分野に関する基礎的な知識と技術を家庭経営の立場から総合的・体験的に習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と態度を育てる。
------	--

学期	月	指 導 内 容	予 定 時 数
一学期	4	私たちの食生活 生活時間と食事 文化としての食生活	6
	5	食品の衛生と安全 栄養とは 炭水化物 脂質 たんぱく質	8
	6	無機質 ビタミン その他の食品 調理の基本 調理実習	8
	7	調理実習 食品の選択と取り扱い	6
二学期	9	子供とともに 生命の誕生 子供の育ち方の特徴	6
	10	からだの育ち こころの育ち 子どもの暮らしと親のかかわり	6
	11	子どもの食生活 子どもの病気と事故	8
	12	社会と子供	6
三学期	1	住居 日本の住居（風土・文化から理解する）	6
	2	住空間（家族構成により変わる住まい） 住居の機能（人に優しい住まい、バリアフリーなどを考える）	6
	3	安全な住まい（災害時への配慮・防犯の危機管理） 快適な住まい（住まいの維持管理） 衛生的な住まい（健康的に過す・有害物質の発生要因） 住生活の現状（日本の住宅事情）	4

評価の観点・方法	授業・実習における取り組み、プリント提出、定期考査を基に総合的に評価
----------	------------------------------------

令和5年度年間授業計画（定時制課程）

教科・科目	商業・情報処理	単位数	2	対象学年・組	3年A組
使用教科書・教材	情報処理 実教出版		教科担当者名	菊池 信隆	

学習目標	代表的なワープロソフトの Word、表計算ソフトの excel を使用し、検定3級程度のビジネス文書や表・グラフが作成できるようにする。また、コンピュータに関する基礎的な知識を学習する。
------	---

学期	月	指 導 内 容	予定時数
一学期	4	コンピュータの基本操作（起動・保存・終了） タッチタイピングの習得	4
	5	ワープロソフト1（速度）	6
	6	ワープロソフト2（速度） <実習テスト>	8
	7	ワープロソフト3（文書作成） ビジネス文書の作成	4
二学期	9	ワープロソフト4（検定問題） <実習テスト>	4
	10	表計算ソフト1（四則演算・関数を利用した計算）	6
	11	表計算ソフト2（表の作成）	8
	12	表計算ソフト3（グラフの作成）	4
三学期	1	表計算ソフト4（検定問題） <実習テスト>	4
	2	ワープロソフト・表計算ソフト(検定問題)1	6
	3	ワープロソフト・表計算ソフト(検定問題)2 ※予定は生徒の状況等により変更することもあります	4

評価の観点・方法	実習 100点 実習テスト 100点 出席 +30点～△50点 授業態度を考慮します
----------	---

令和5年度「総合的な探究の時間」の全体計画

1 「総合的な探究の時間」の校内での名称（実施学年ごとに記入する）

第1学年『人間と社会』 第2学年『総合（探究）』
第3学年『総合（探究）』 第4学年『人間と社会』

2 学校の教育目標

- ① 学問を愛し、真理を探究する精神を養い、生涯を通し知性の向上に努めさせる。
- ② 情操を養い、明朗で清純な品性と礼節ある態度を培う。
- ③ 正義と平和を愛し、心身ともに健全で実行力のある人間を育成する。
- ④ 個性を伸ばし、自主的精神を培うとともに、自己の社会性を自覚させる。

3 各学校において定める「総合的な探究の時間」の目標

- ① 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通してよりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。
- ② 学び方や考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に創造的に取り組む態度を育て、己の在り方・生き方を考える。

4 生徒・学校・地域の実態

- ① 本校在校生は、義務教育期の不登校経験者が多い。だからこそ学び方やものの考え方を身に付け、主体的創造的に取り組む姿勢やコミュニケーション能力を育みたいと願っている。
- ② 地域・保護者は、本校を丁寧な生活指導を実施する学校と認知し、入学後は心身ともに健康で望ましい生活習慣を育成して欲しいと願っている。

5 指導体制（実施学年ごとに記入する）

- ① 週時程への位置付け方（曜日・校時）及び授業時間数、単位数

1 学年	木曜日・3校時	1 単位時間45分とし、35単位時間
2 学年	木曜日・3校時	1 単位時間45分とし、35単位時間
3 学年	木曜日・3校時	1 単位時間45分とし、35単位時間
4 学年	木曜日・3校時	1 単位時間45分とし、35単位時間
- ② 授業時間確保の方法 特定の期間に集中して実施しない。
- ③ 校内の指導組織
 - 1 学年2人、2 学年1人、3 学年2人、4 学年1人、計6人の専任教員で担当する。
- ④ 学習の評価
 - 1 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
 - 2 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
 - 3 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
 - 4 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
- ⑤ 評価方法
 - 1 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。
 - 2 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。
 - 3 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。
 - 4 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。

6 育てようとする資質や能力及び態度

- ① 基礎基本を重視し、学び方やものの考え方を習得することを通して社会の状況に応じてその力を活用する。
- ② 横断的探究的学習を通して、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。
- ③ 自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

7 内容（学習対象、学習事項）（実施学年ごとに記入する）

- ① 『人間と社会』第1学年
○自ら課題を設定し、それに対し調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ② 『総合（探究）』第2学年
○1学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ③ 『総合（探究）』第3学年
○2学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ④ 『人間と社会』第4学年
人間と社会の学習の意義・ねらいや年間学習計画の確認をする。都立城北中央公園を中心にした「奉仕体験活動」、ネット時代・働くことの意義など本校の生徒に密着したテーマを取り上げ人間と社会について理解を深化させる。
① 学習事項
○興味関心を見出し、進路に応じた課題に取り組み、自ら学び考える資質や能力を育む。

8 学習活動

- ① 第1学年『人間と社会』
自ら課題を設定し、それについて調査・研究を行っていく。また学校近隣の地域と連携した「奉仕体験活動」を実施し人間と社会について理解を深化させる。
- ② 第2、3学年『総合（探究）』
生徒自身が課題を設定し、それについて調査・研究を行っていく。また進路について考えることや、職業について考えるために横断的・総合的な講座に取り組み、自己の在り方・生き方を探究する。
- ③ 第4学年 『人間と社会』
人間と社会の学習の意義・ねらいや年間学習計画の確認をする。都立城北中央公園を中心にした「奉仕体験活動」、ネット時代・働くことの意義など本校の生徒に密着したテーマを取り上げ人間と社会について理解を深化させる。

9 指導方法

協働的な学習の充実を図り、個に応じた指導ができるように少人数構成にしている。

10 各教科等との関連

- ① 各科目・教科との連携を図るために教務部担当者及び副校長を中心に進度・学習内容の連絡会を継続的に実施する。
- ② 定期的に検証を加え授業力向上の校内研修を実施する。

11 外部との連携

- ① 本校ホームページ、Twitter等を活用して地域・保護者に広報し、年間2回の授業参観及び研究協議会を実施する。
- ② 城北中央公園管理センターとの連携を図る。

令和5年度「総合的な探究の時間」の年間授業計画

(3学年)

1 単位時間の時間 (45) 分 『総合 (探究)』

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	事前指導 課題設定	講座内容・評価方法の説明 1、2学年の成果を踏まえ、新たな取り組む課題を設定させる。	出席、意欲などを総合的に評価	2
	5	身の回りの地域について考える。	自分たち学校周辺について、継続して情報を収集し整理・分析し自己の考えを深化させる。		3
	6	社会貢献について考える。	身の回りの地域に対して継続して社会貢献について考え、自己の考えを深化させる。		3
	7	まとめ	1学期に調査したことを振り返りまとめる。		3
2	9	ガイダンス	調べ方ガイダンス・課題設定	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	3
	10	調査・研究	設定した自己の課題について調査・研究を行う。		3
	11	調査・研究			4
	12	研究論文作成	研究論文を作成する。		4
3	1	研究発表	研究論文の作成及び発表。	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	4
	2	振り返り	振り返りを行い、自己の取り組みの確認を行う。		4
	3	課題の設定	1年間の取り組みをまとめ、次の課題を設定する。		2
配当時間数の合計					35